

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		なないろキッズたいない			公表日	令和8年 3月 27日	
		チェック項目	割合			工夫している点	課題や改善すべき点
			はい	どちらとも いえない	いいえ		
環境・ 体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	88%	13%	0%	・利用人数や利用時間の状況等に応じて、事業所外での活動も企画するようにしている。 ・学習や静かに過ごす場を確保し、有効活用に努めている。	・整理整頓に努めるとともに、限られたスペース中での有効活用に、今後も工夫を凝らしていく。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	0%	・職員のシフト作成時には、利用定員やこどもの状態を考慮し、配置基準以上の職員数を確保している。管理者がチェックしている。	・変更が必要な場合や送迎時等、こどもの支援が手薄にならないよう、臨機応変な担当配置をしていく。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	88%	13%	0%	・施設内には、こどもに分かりやすい表示を掲示し、道具棚には場所が明確になるようシール等で表示している。	・建物の構造上、バリアフリーを考慮した環境を整えることは難しいが、限られた条件下での工夫を継続する。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	0%	・毎日の清掃を欠かさず、手洗いや除菌・換気には十分注意を払っている。 ・活動内容に合わせて、机や道具を移動させ、必要な場を確保している。	・こどもたちの活動に合わせて、施設(図書館等)へのお出かけや野外の活動を随時取り入れていく。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	0%	・学習など集中したい時やクールダウンする時に、使用する部屋を確保している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	0%	・共通の目標に向かって取り組み、日々のミーティングや振り返りから評価し、改善の方途を提案している。意見交換しやすい職場環境づくりに努めている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	0%	・保護者アンケートを年に一度行い、意向に沿った業務改善ができるように評価結果を共有し、業務の改善に努めている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	0%	・毎月の職員会議や日々のミーティングで情報交換する場を設け、意見を出し合うことを通して業務改善につなげている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	100%	0%	0%	・七穂会事業所の評価会議に結果を公表し、業務改善につなげている。	・必要に応じて、放デイでの第三者評価の実施を検討する。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	0%	・毎月の職員会議での研修実施、法人や外部主催の講演会等への積極的な参加により、職員の資質向上を図っている。	
適切な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	0%	・支援プログラムは、文書での配付やHPへの掲載を行い、取組内容を家族等へ周知している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	0%	・保護者との情報交換を大切にするとともに、日々の支援記録や職員の見取りも参考にしながら、計画を作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	0%	・計画作成に関しては、常勤職員で内容を検討し、その後の会議や打ち合わせで全職員が共通理解するようにしている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	0%	・定例の職員会議で、子どもの情報交換をする場を設け、支援内容について共有している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	0%	・保護者にアセスメントシートを作成していたが、子どもの適応行動の状況を把握している。また、日々の様子については、連絡帳や送迎時の情報共有等で内容を確認している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	0%	・個別支援計画は、ガイドラインに沿った形式で、児発管が作成提案している。5領域の視点を網羅し、より適切で具体的になるように、職員間で吟味しながら支援内容を設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	0%	・活動内容は事前に計画案を作成し、関係職員で打ち合わせを行っている。	

支 援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	0%	・実態に即した活動内容を工夫している。土曜日や長期休業日の活動については、地域交流や多様な体験活動を計画し、魅力的な内容にしている。	・イベント等の企画がマンネリ化しないよう、職員間でアイデアを出し合いながらプログラムを作成していく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	0%	・毎日の支援内容は、個別活動と集団活動を組み合わせ、パターン化している。こどもの参画を促した集団活動の内容を工夫している。	・集団活動が苦手な子どもにも楽しんでもらえるよう、日々改善を試みていく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	0%	・支援開始前に職員ミーティングを実施し、支援内容や役割分担を確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	0%	・支援終了後には、こどもの様子を記録し、成長が見られた点やさらに工夫が必要な支援について話し合い、情報を共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	0%	・日々の様子等を個別のサービス提供記録として職員が記録し、共有しながら、支援の検証・改善につなげている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	0%	・定期的なモニタリングを行い、関係職員で計画を見直しが必要かどうかを検討し、サービス計画を作成している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	100%	0%	0%	・個々に応じた活動や多様な遊び、交流、参画の場をバランスよく組み合わせながら支援を行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	0%	・おやつや「みんなでタイム」等、活動の中で自分で考え、選択できる場を多く設定するようにしている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	0%	・管理者や児童発達支援管理責任者が参画している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	0%	・必要に応じて、ケース会議に参加し、関係機関との連携を大切にしている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	0%	・各学校の年間計画・月歴・下校時刻等の情報を基に事業所の計画を立てている。 ・利用者の学級担任との面談を実施している。 ・こどもの対応については、連絡を密にし、トラブルの発生を防ぐよう配慮している。 ・学校迎えの際には、情報共有できる雰囲気づくりを心掛けている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100%	0%	0%	・児童発達支援事業所等と、必要に応じて、ケース会議を行い、情報共有や児童の理解を深めるようにしている。	・就学前の保育所等との間で連絡を取り合うことはないが、必要に応じて相談員から情報を得るようにしている。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	100%	0%	0%	・該当者1名。障害福祉サービス事業所と面談し、直近の個別支援計画書及び評価結果を提出した。本人や保護者の希望も伝えた。	・七穂会事業所及び他事業所への移行を希望する場合も情報共有していく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイザーの助言や研修を受ける機会を設けているか。	100%	0%	0%	・専門機関と連携し、助言や研修を受けて、よりよい支援方法ができるよう努めている。	・必要に応じて、スーパーバイザーの助言や研修を積極的に受ける機会を設ける。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	100%	0%	0%	・公園や公共施設・イベントなどで、障がいのない子どもと活動する機会があれば、積極的に参加するようにしている。	・児童クラブや児童館との交流はないが、必要があれば交流を図っていく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	100%	0%	0%	・会議等に参加し、情報を密にしている。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	0%	・送迎の際にはその日の様子をお伝えしたり、連絡帳を通して情報交換したりしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%	0%	・家族支援面談等で、子どもへの接し方や療育方法、進路などについても情報交換している。 ・保護者会では講師の招聘やグループ懇談により、家族支援についての話題を提供している。	・家族支援プログラムや家族参加の研修会については、積極的な情報提供を継続する。
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	0%	・契約時等に、資料をもとに丁寧に説明している。		

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	0%	・会話を通して子どもの意思確認をするとともに、連絡帳や電話等で保護者の意向をお聞きしている。家族支援面談で再確認し、作成の見直しの機会も設定している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	0%	・個別の面談を行い、支援内容の説明、意見聴取を得て、再確認していただいてから署名をお願いしている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	0%	・悩みや相談があった場合は、家族支援面談を実施し、助言や支援方法の提案をしたり、学校等と連携したりしている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	100%	0%	0%	・保護者会を開催し、グループ形式での懇談や全体での情報共有を実施し、保護者同士の交流を図っている。	・きょうだい同志で交流する機会は設定していないが、事業所内でのご利用はあるので、必要な支援を考慮していく。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	0%	・日頃から丁寧な対応を心掛け、苦情があった場合は、正確な情報収集を行い、迅速かつ適切な対応を行うようにしている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	0%	・毎月の便りに、予定や連絡の他、活動の様子等を掲載して発行している。また、画面構成を工夫し、活動内容や取組の意図、子どもの様子などをHPを活用して発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	0%	・個人情報が出さないよう、同意書をお互いに交わすとともに、写真の掲載や文書の扱い、ホームページの作成には細心の注意を払っている。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	0%	・日々の子どもたちへの支援では、分かりやすい説明、見やすい掲示や提示、温かい言葉掛け等を心掛け、保護者との会話を大切にしている。必要に応じて便りや支援計画にルビをふる等の工夫もしている。	
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	100%	0%	0%	・地域のイベントに積極的に参加したり、デイサービスやグループホームを訪問したりして交流を図っている。 ・収穫した枝豆やサツマイモなどを近隣の方に配るなどして親交を深めている。	・地域に開かれた事業運営を図るため、今後も積極的にイベントに参加し、地域住民への招待等、行事の改善にも努めていく。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	0%	・マニュアルを作成し、職員に周知して訓練を実施している。 ・必要に応じて、対応マニュアルに沿った文書を保護者に配付している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	0%	・BCPを策定し、年3回の避難訓練、必要な訓練や研修を実施している。	・策定した計画をもとに、今後も検討改善を継続していく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100%	0%	0%	・契約時に、服薬や発作等に該当する子どもの状況を確認し、詳しく聞き取るとともに、アセスメントシートに記入された内容を確認し、職員全員で情報共有している。	・子どもの命を守るため、今後も保護者、学校、医療機関との連携を密にしていく。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	0%	・保護者や学校からの報告により、食物アレルギーのある子どもの情報は、全職員に周知し、適切に対応するようにしている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	0%	・非常時の避難場所と避難方法を子どもに分かりやすく指導し、定期的に訓練を行っている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう安全計画に基づく取組内容について家族等へ周知しているか。	100%	0%	0%	・安全計画は、文書での配付やHPへの掲載を行い、取組内容を家族等へ周知している。	・家族への周知だけでなく、引き渡しが必要な場合の訓練の実施を今後検討していく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	0%	・ヒヤリハット事例を随時、職員会議等で出し合い、事故の未然防止に向けた対応策を提示するとともに情報共有し、実践している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	0%	・外部研修に参加し、研修内容を職員に文書等を使って指導伝達している。 ・七穂会の虐待防止委員会規程を受け、事業所内で定期的に研修会を行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	0%	・七穂会の規程、指針を受け、事業所として必要がある場合は、放課後等デイサービス計画に記載する。		